



かながわ

議会だより

鎌倉市議会

〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号

電話：0467(23)3000 内線 2448 FAX：0467(23)5825

鎌倉市議会ホームページ……………[鎌倉市議会](#)

メール：gikai02@city.kamakura.kanagawa.jp

編集発行：鎌倉市議会広報委員会

平成28年12月定例会（12月7日～27日）

子育て支援センターの指定管理者の指定議案等を可決

●定例会の概要

- ・今定例会では、19名の議員が一般質問を行いました。
- ・市長提出議案として、条例関係議案8件、補正予算議案3件、その他議案17件を可決し、固定資産評価審査委員会委員の選任議案3件に同意しました。また、「議案第72号鎌倉市事務分掌条例の一部を改正する条例の制定について」の撤回を承認しました。
- ・議員提出議案として、「鎌倉市パチンコ店等の建築等の規制に関する条例の一部を改正する条例の制定について」ほか9件を可決し、陳情6件を採択、1件を不採択としました。

●定例会等の主な動き

- 本会議（12/7～14）……………一般質問、議案上程、採決（2～4面）
- 常任委員会等（12/15～22）……………議案・陳情審査等（2～4面）
- 観光厚生常任委員会・総務常任委員会連合審査会（12/21、26）……………（4面）
- 議会全員協議会（12/22）……………（3面）
- 本会議（12/27）……………緊急質問、委員長報告、議案上程、採決（3、4面）

開かれた議会を目指して

鎌倉市議会では、平成27年1月に鎌倉市議会基本条例を制定し、より市民に分かりやすく、身近な存在となるよう「開かれた議会」を目指しています。今号では、今任期中に取り組んできた内容の一部をご紹介します。

議会報告会の開催

平成27年から、毎年5月に議会報告会を開催し、新年度予算の審査結果、各常任委員会の審査結果を市民の皆さまに報告しております。その際、市民の皆さまからの意見聴取も実施しており、毎回貴重なご意見をいただいております。

引き続き、多くの皆さまにご参加いただけるイベントになるよう検討していきます。

なお、今年は4月に市議会議員選挙があるため、7月に開催する予定です。詳細については、別途お知らせします。



政務活動費の公開

鎌倉市議会では、議員1人当たり月額5万円（年額60万円）の政務活動費を交付しており、平成28年から、各議員が支出した内容をまとめた「政務活動費支出明細表」をホームページで公開しています。また、各議員から提出された政務活動費収支報告書、会計帳簿、領収書などの資料を市役所3階の行政資料コーナーに配架し、自由に閲覧いただけるようになりました。

議会図書室の見直し

議会図書室を市民の方にも利用しやすくするため、蔵書のデータベース化を行い、市議会ホームページで公開しました。

市民の方もご利用いただけますので、蔵書の貸し出しを希望される方は、議会事務局までお問い合わせください。



政策法務相談の実施

地方分権が進む中、議員自ら政策立案を行うことの重要性が増しています。

鎌倉市議会では、議員が会派を超えて研究会を構成し、政策研究を行い、政策提言・政策立案を目指すため、弁護士や大学教授などの専門知識を有する方から助言、指導を受けることができる「政策法務相談」という制度を設けています。

平成25年度の制度設立以降、「議員定数と議員報酬の在り方」、「在宅歯科診療の拠点整備及び休日急患歯科診療所の在り方」などのテーマについて実施してきました。



インターネット中継の見直し

本会議、常任委員会等の審査の様子について、インターネット中継を行っています。

このうち、委員会中継について、中継映像の下部に審査中の日程をテロップで表示させるように変更し、視聴者に進行状況が一目で分かるよう見直しを行いました。

一般質問

一般質問とは、市の事務や市が抱える課題等について市長などにたずねるもので12月定例会では19名の議員が一般質問を行いました。

ここでは、議会広報委員会が事項別に整理した内容の一部を掲載しています。

一般質問の全文は、2月中旬作成予定の本会議録を図書館や鎌倉市議会ホームページ内「会議録検索システム」でご覧ください。

公文書管理について

公文書管理について、次の質問が行われました。

質問：公文書には読みやすさ、分かりやすさが求められており、使われ方も時代によって変わる。市の公文書作成規程もそれに合わせ見直す必要があると考えられているか。

総務部長：文章や用語は時代と共に変遷しており、公文書作成規程も市民にとって分かりやすいものになるよう、見直しを図るべきと考えている。

質問：企業活動拠点整備事業における選定委員会の会議録を情報公開請求したところ、会議録は作成されていなかった。選定の過程が分かるように会議録を作成すべきと考えられているか。

同部長：平成27年3月に策定した行政文書の作成に関する指針では、審議会等の会議の記録を残すことを明記している。また、審議会等に関する指針においても、会議終了後、会議録を速やかに作成することとしているため、事業者の選定などの場合は、選定過程の透明

の時間が必要なのか。

同部長：今年度実施した歴史的公文書調査結果による移管対象の書類の確認・抽出作業は、おおむね2年程度の時間を要すると見込んでいる。

質問：公文書管理と情報公開は車の両輪であり、公文書

管理条例を持つということについては、公開を前提とした行政運営を行うことを意味する。特に政策決定と公文書管理の在り方は直結しており、本市にとって非常に大切なことだと考えるがどうか。

市長：公開を前提とした行政

乳幼児・子育て支援について

本市における乳幼児・子育て支援について、次の視点から質問が行われました。

【乳幼児健診について】

質問：子供の成長・発達を確保するために会議録を作成することが望ましいと考える。文書作成指針の根本的な目的が市民に対する説明責任を果たすことにあるため、職員に周知徹底していききたい。

質問：行政文書の作成に関する指針は本市の業務遂行において共有されているのか。

同部長：平成28年11月に実施した職員アンケートでは、指針を把握している職員は46%にとどまった。指針が末端まで伝わるような体制づくりが課題と捉えている。

質問：文書管理システム導入前の永年保存文書の整理・保存はどのような状況か。

同部長：保存期間30年の長期保存文書約2千箱の確認調査を行った結果、約500箱分が歴史的公文書への移管対象としてさらに選別が必要であることが判明した。保存状態が良くない文書については、教育委員会と連携して行う歴史的公文書の抽出作業を終えた後に修復を進める予定である。

質問：抽出作業等、公文書を整理するには、どのくらいの

て実施費用を補助する考えはあるのか。

市長：子育て、出産のしやすい環境づくりというのは重要だと考えている。スクリーニング検査の費用の補助については、他市の状況等を踏まえ、今後の検討課題としたい。

【子育て支援の拡大について】

質問：子育て支援の拡大の施策として、フィンランド発祥のネウボラについて、本市はどのように捉えているのか。

健康福祉部長：ネウボラは、保健師や助産師がコーディネーターとなり、妊娠から出産、育児まで対象者に寄り添った支援をしていく取り組みである。地域や医療機関と連携したサポート体制づくりのほか、幅広い情報提供等を行うものと考えている。

質問：子育て支援について、本市の取り組み状況を聞きたい。

同部長：対象者への支援が複数の課にわたる場合、現在、それぞれの課の担当者が連携しながら支援をしている。妊娠から子育てまで一貫し、効果的かつきめ細やかな支援をしていくために

運営を行うということは、非常に重要と考えている。公文書管理条例の制定については、現在課題となっている長期保存文書から歴史的公文書を選別する作業を終わらせた後に検討を進めていきたい。

は、今後、コーディネーターの存在が不可欠になると考えている。

質問：国が進める子育て世代包括支援センターの設置について、本市はどのように考えているのか。

同部長：まず、コーディネーターの配置による母子保健相談、また、産後ケア事業等の取り組みが必要であると考えており、現在策定作業中の、第3期基本計画後期実施計画の中で検討している。その上で、拠点となるセンターの設置については、先行事例や他市の状況等を踏まえて検討していきたい。

質問：子育てしている立場から見ると、出産、子育てに関する窓口は一元化すべきだと考えている。一元化により、さらなる子育て支援体制の強化をしていくべきと考えられているか。

経営企画部長：本市における子育て支援については、母子保健の観点や子供の養育という観点からさまざまな課が連携を図りながら、子供の年齢や状況に応じた施策を実施している。今後、本市の実情や子育て支援に関わる課の意見等を聴取しながら、必要に応じて組織の見直しを検討していきたい。

一般質問項目一覧

①河村琢磨 (みんな)

- 1 つながる社会、創造する未来について

②永田磨梨奈 (鎌夢会)

- 1 女性活躍推進について
- 2 企業立地支援について
- 3 オープンデータについて
- 4 市民協働について
- 5 地域の安心・安全について

③上島寛弘 (公正)

- 1 子育て支援の拡大、鎌倉版ネウボラの実現
- 2 農業振興と人材確保
- 3 社会福祉法人ラファエル会の実態と浄化
- 4 鎌倉市の教育の在り方
- 5 市長の政治姿勢と腐敗・癒着・墮落
- 6 公正な選挙と若年世代の政治参加

④渡邊昌一郎 (無所属)

- 1 コンプライアンス推進参与の効果検証について
- 2 官民連携について
- 3 オリンピック (セーリング) の事前準備について

- ・ユニバーサルデザインツアーについて
- ・腰越漁港の改修とヘリテッジについて
- ・空き家対策と民泊について
- 4 契約事務等について
- ・関係書類の公開範囲について
- ・契約会社と議員の関係について
- ・契約書の訂正と追加について (契約変更等)
- ・ICレコーダーの録音について

⑤前川綾子 (鎌倉みらい)

- 1 防災について
- ・学校の防災
- ・津波対策
- ・アプリの活用
- ・緑保全のしくみづくり

⑥保坂令子 (神奈川ネット鎌倉)

- 1 空き家対策について
- 2 一人暮らし高齢者調査について
- 3 まち・ひと・しごと創生について
- 4 公文書管理条例について

⑦吉岡和江 (日本共産党)

- 1 安心して住み続けられる鎌倉をめざして 市民アンケートから
- ・樹林管理、道路改善、介護、子育て支援、健康づくり等
- 2 深沢まちづくりと新駅について

⑧松中健治 (無所属)

- 1 災害時の避難場所とライフライン
- 広場・下水道・トイレ・燃料・水道・避難場所 (土地) 仮設住宅用・食料
- 2 憲法について

⑨久坂くにえ (みんな)

- 1 高齢者の運転事故防止について
- 2 ダブルケアを中心とした子育て支援について

⑩岡田和則 (無所属)

- 1 債権管理課の実績 (過去・現在)、課題、今後の見通し
- 2 ふるさと寄附金推進について
- 3 ポケモンGOとまちづくり
- 4 市長の政治姿勢について

⑪高橋浩司 (鎌夢会)

- 1 行財政改革について

⑫赤松正博 (日本共産党)

- 1 子どもの貧困対策について
- 2 文化財保護行政について

⑬西岡幸子 (公明党)

- 1 乳幼児健診の充実と発達障害の早期発見・支援について
- 2 鎌倉山1丁目及び苗田3丁目地区における違反造成問題について

⑭大石和久 (公明党)

- 1 岡本二丁目用地施設整備基本計画について

⑮納所輝次 (公明党)

- 1 深沢地域整備事業について
- 2 鎌倉市地域防災計画について
- ・災害発生時における避難所運営について

⑯千一 (無所属)

- 1 電柱の地中化と危ない歩道について
- 2 鎌倉市内の鉄道の駅でまだバリアフリーになっていない駅について
- 3 虐待・いじめから痛ましい事故について
- 4 図書館運営と人件費について

⑰竹田ゆかり (無所属)

- 1 教育環境条件整備について
- 2 公文書作成規程について
- 3 図書館の運営体制について
- 4 社会福祉協議会の今後のあり方について

⑱山田直人 (鎌倉みらい)

- 1 環境関連諸計画とまちづくりについて
- 2 いきいき健康のまちづくりについて

⑲渡辺隆 (みんな)

- 1 交通政策について
- ①ロードプライシング
- ②パーク&ライド
- ③電線の地中化
- ④村岡新駅
- ⑤観光客の分散化

全員協議会

平成28年12月22日に議会全
員協議会を開催し、市長から
次の2件の報告を受け、質疑
を行いました。

○不適切な事務処理および 関係職員の処分について

平成27年9月定例会におい
て一般質問において、有効期
限切れワクチンを使用した予
防接種および白紙請求書を使
用した事務処理が行われてい
たことが判明したこと、さら
に、怠慢な事務処理やさん
な公金管理が原因で、生活保
護費が盗難に遭う事件が発生
したこと、事実関係の調
査、原因究明および再発防止
に向けて取り組むことを目的
として設置した「不適切な事
務処理に関する調査委員会」
で、内部調査を行ってきた。

その後、第三者による「検
証専門員」を設置し、市が行
った内部調査を検証した上で、
追加調査の助言と支援ならび
に再発防止に向けた意見が出
された。

これらの検証結果を踏ま
え、不適切な事務処理の実態
が明らかになったことから、
このたび関係職員に対して、
懲戒処分等を行った。

今後、このような事案が起
こらないよう再発防止に努
め、市民の皆さまの信用と信
頼の回復に、職員一丸となっ
て取り組んでいきたい。

また、市政運営の総括責任
者として、今回の件を重く受
け止め、今定例会に、市長、
所管の副市長および教育長の
給与減額条例を提出する。

○職員への処分について

実際に要する費用よりも多
くの通勤手当を受給していた

職員等および勤務時間中に公
用車を私的に利用した職員につ
いて、減給や訓告の懲戒処分
等を行った。

◆条例案の内容および議決結果

市長は、給料および地域手
当の10分の1を3カ月間、所
管の副市長および教育長は、
給料および地域手当の10分の
1を1カ月間減額しようとし
るものです。

12月27日開催の本会議にお
いて、総員の賛成により原案
を可決しました。

陳情の議決結果

今定例会では24件の陳情が
提出されました。陳情6件を
採択したほか、1件を不採択、
14件を継続審査とし、3件を
全議員に配付しました。

【採択した陳情】

◆鎌倉市図書館が目指すべき
将来像の確立についての陳
情

陳情の要旨および審議結果
今後の図書館運営のよりど
ころとなるような、本市図書
館の目指すべき将来像の確立
を求めるものです。

◆各常任委員会開催前に傍聴
資料を配架することについ
ての陳情

陳情の要旨および審議結果
市議会各常任委員会の審議
事項に係る資料について、市
民等があらかじめ内容を把握
できるように、委員会開催前
に行政資料コーナーに配架す
ることを求めるものです。

◆「第一中学校通学路(兼津
波避難通路)の崖崩落防止

「工事」についての陳情
陳情の要旨および審議結果
第一中学校通学路の崖崩落
防止工事の早期着工を求め
るものです。



通学路の状況

◆崖地崩落防止措置につい ての陳情

陳情の要旨および審議結果
小坪トンネル周辺の崩落事
故に関連し、周辺の山林につ
いて再発防止措置を講じるこ
とを求めるものです。

◆産後ケア事業に対する補助
金についての陳情

陳情の要旨および審議結果
産後ケア事業に、無料クー
ポン券等の補助制度を導入す
ること、出産後4カ月未満の
子育て中の全ての女性を対象
とすることを求めるものです。

◆市役所主導で「自主まち
活性化」の連絡会議を設
置することに関する陳情

陳情の要旨および審議結果
まちづくり市民団体活性化
のため、市役所主導で知恵の
伝授と助言の場をつくるよう
切望するものです。

◆旧鎌倉図書館の活用方法
に関する陳情

12月20日、21日開催
審査した内容(議案12件、陳情14件、報告事項等8件)

報告事項 防災対策の取組状況について
防災対策の取組状況については、担当課から逐次状況報告を受けてい
ますが、平成28年9月定例会以降、特に重点的に取り組みを進めている
事案について報告を受けました。
災害情報の収集・提供の充実については、気象情報等の自動配信機能
に市のTwitter、Facebookへの連携機能を追加することが可能となり、
平成29年1月から運用を開始することです。
避難行動要支援者対策については、自治・町内会等へ提供する避難行
動要支援者名簿の作成が完了し、11月下旬から本格的に提供を開始し
ていることです。
関係団体等との災害協定締結については、平成28年6月定例会で陳情
が採択されたことを受け、11月1日に災害時における段ボールベッド等
の供給協定を取扱業者で構成される「東日本段ボール工業組合」と締結
し、災害時には段ボール製簡易ベッド、段ボール製シート、段ボール製
間仕切り等の供給ルートが確保されることになったことです。
また、津波対策として、由比ガ浜のN T T鎌倉ビルを32箇所目の津波
避難施設として指定を行ったこと、そのほかに、各種訓練等の実施結果
と今後の予定について、および崖地対策の推進について関係課との課題
の共有と対応策の検討を開始したとことです。
委員会では総員により了承されました。

12月16日開催
審査した内容(議案4件、陳情1件、報告事項等5件)

陳情第44号 産後ケア事業に対する補助金についての陳情
本陳情は、本市の産後ケア事業に、無料クーポン券等の補助制度を導入
すること、また、制度については、出産後4カ月未満の子育て中の全
ての女性を対象とすることを求めるものです。
他自治体の状況としては、国が平成27年度から進めている「地域子ど
も・子育て事業」の一つである産後ケア事業については、事業を開始
する自治体が増えてきており、県内では横浜市、川崎市、横須賀市で、対
象者に対する支援を実施しているとのことです。
また本市の状況としては、現在、市内の二つの産科医療機関で産後ケ
アが実施されているものの、利用料の全額が自己負担となっており、少
子化や核家族化による育児力の低下など、支援が必要な女性が年々増加
傾向にあることから、先行事例等を踏まえ、平成29年度から始まる市の
第3期基本計画後期実施計画の中で実現できるよう検討していきたいと
のことです。
委員会では、「質疑を通じ、今後、行政計画において産後ケアに対す
る支援充実を図っていくという市の方向性が確認できた」「実施に当た
り、まずは対象となる子育て中の女性のニーズをしっかりと把握した上
で進める必要があり、実施中のサービスの充実を含め、手厚い支援を行っ
ていくべき」との意見が出され、総員により採択されました。

観光厚生常任委員会 常任委員会 総務常任委員会 建設常任委員会 審査の一部を紹介します 教育こどもみらい常任委員会

12月19日開催
審査した内容(議案4件、陳情4件、報告事項11件)

報告事項 北鎌倉隧道の安全対策について
北鎌倉隧道の安全対策などについて、次のとおり報告を受けました。
平成28年7月に開催された文化財専門委員会の意見を受け止め、土木
と文化財の専門家から構成する検討委員会が発足され、尾根の文化財的
価値とトンネルの通行の安全が両立できる方策(工法)の検討を開始し、
11月に開催された第1回検討委員会では、仮設隧道の整備について、隧
道は削らずにライナープレートを既存隧道内および隧道の鎌倉側に設置
し、両坑口を土のうで補強する案が了承され、この案を文化庁に報告し
了解が得られたとのことです。今後は、検討委員会で保全方針を踏ま
えた安全対策の方策(工法)を今年度末までに検討の上、まとめる予定
であるとのことです。
なお、隧道は地元住民の生活道路や通学路などに利用されていますが、
隧道の通行禁止後、大船高校の生徒の朝の通学のために開設している
JR北鎌倉駅下り線大船側の臨時改札口を、一般にも利用できるよう、
JRと協議を重ね、北鎌倉隧道の安全対策工事が完了するまでの間、仮
改札口として開設する協定を締結するための補正予算を12月定例会に
提案したとのことです。
委員会では総員により了承されました。

12月15日開催
審査した内容(議案5件、議会議案1件、陳情1件、報告事項11件)

報告事項 鎌倉市中学校給食基本方針の策定について
平成29年11月から開始する中学校給食を着実に実施するため、教育委
員会が策定した「鎌倉市立中学校給食基本方針」(以下、基本方針)に
ついて、報告を受けました。
基本方針では、地産地消、季節の行事や郷土料理などを取り入れ、市
の栄養士が献立を作成すること、民間の調理施設で調理した給食をラン
チボックスに盛り付けて各中学校へ配送するデリバリー方式で実施す
ること、食物アレルギー対応については、ランチボックスを通常献立の
ものとは異なる色のものを使用するなど、誤配・誤食の事故が起こること
のない安全性を最優先にした運用に努めていくことなどが定められて
いることです。
委員会では総員により了承されました。

中学校給食サンプル献立

米飯を中心とした主食とおかず3~4品
毎日みそ汁やスープなどの汁物が付きま
す。汁物とご飯の容器は、専用の保温コ
ンテナで配送され、温かい状態で配膳さ
れます。

議決された主な議案等

※下記以外の議案等への賛否については、議会事務局へお問い合わせください。

○：賛成 -：反対

会派名	議員名	議案等	議決結果	鎌倉市議会	公明党	公明党	公正と法	日通	神奈川	無所属																						
※会派は、政策を中心とした同一の理念を共有する2人以上の議員で構成されます。本市議会では、会派に属する議員は代表質問を行った、議会運営委員会の委員となり、議会運営に関する協議を行うことができます。	※○は会派の代表者 ※中澤克之議員は議長のため、採決には参加していません。	主な議案等		高橋 浩司	日向 慎吾	永田 磨梨奈	小野田 康成	河村 琢磨	久坂 くにえ	中村 聡一郎	大石 和久	西岡 幸子	納所 輝次	池田 実	前川 綾子	山田 直人	長嶋 竜弘	中澤 克之	上島 寛弘	吉岡 和江	赤松 正博	三宅 真里	保坂 令子	千一	竹田 ゆかり	岡田 和則	渡邊 昌一郎	松中 健治				
条例	第71号	鎌倉市農業委員会の委員の定数等に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
補正予算	第78号	平成28年度鎌倉市一般会計補正予算(第4号)(一般廃棄物焼却処理等業務等)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
その他	第67号	指定管理者の指定について(子ども会館および子どもの家)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議会議案	第26号	鎌倉市パチンコ店等の建築等の規制に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第33号	地方議会議員年金制度の復活に断固として反対する意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情	第29号	鎌倉市図書館が目指すべき将来像の確立についての陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第43号	「第一中学校通学路(兼津波避難通路)の崖崩落防止工事」についての陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第44号	産後ケア事業に対する補助金についての陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第60号	崖地崩落防止措置についての陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第62号	市役所主導で「自主まち」活性化の為に連絡会議を設置することに関する陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

今定例会では、議員から11件の議案が、市長から32件(うち1件は撤回)の議案が提出されました。主な議案の内容および議会における議決結果は次のとおりです。

《議員提出議案》

鎌倉市パチンコ店等の建築等の規制に関する条例の一部を改正する条例の制定について

平成8年に制定された鎌倉市パチンコ店等の建築等の規制に関する条例の制定目的である、良好な都市環境を確保するとともに、青少年の健全な育成に資することについて、従来対象施設となっていた保育所のみならず、制定当時にはなかった小規模保育施設などの新たな運営体系の保育施設についても、対象施設に追加し網羅することで、当初の制定目的を果たすべく、パチンコ店・ラブホテル等の建築・出店等の規制強化を行うおうとするものです。

議会では、総員の賛成により、原案を可決しました。

地方議会議員年金制度の復活に断固として反対する意見書の提出について

平成23年に廃止された地方議会議員年金制度について、制度を復活しないよう強く求める意見書を提出しようとするものです。

議会では、多数の賛成により、原案を可決しました。

《市長提出議案》

条例関係議案

鎌倉市農業委員会の委員の定数等に関する条例の制定について

農業委員会等に関する法律

の一部改正に伴い、委員の定数を条例で定めるとともに、委員の選定について調査審議する鎌倉市農業委員選定委員会を法の規定に基づく附属機関として設置し、必要な事項を定めようとするもので、公布の日から施行しようとするものです。

議会では、総員の賛成により、原案を可決しました。

鎌倉市事務分掌条例の一部を改正する条例の制定について

平成29年4月1日から実施を予定している機構改革に向け、部の設置、変更および廃止ならびにその事務分掌の一部を改正しようとするものです。

改正条例の内容について、委員会に報告がありました。その後、市長から、報告を実施した委員会でのさまざまな意見を受け、組織の見直しを実施することの趣旨や内容を、より丁寧に説明する時間が必要との判断が示され、当該議案は撤回されました。

補正予算

一般会計補正予算(第4号)

指定管理者の指定

鎌倉市子ども会館条例に定める腰越子ども会館および山崎子ども会館と、子ども会館に併設している鎌倉市子ども会館「かもめ」およびやまざき子ども会館「めじろ」の指定管理者を、株式会社明日香に指定しようとするもので、期間は平成29年4月1日から平成32年3月31日までの3年間です。

議会では、多数の賛成により、原案を可決しました。

固定資産評価審査委員会委員

市長から固定資産評価審査委員会の委員の選任についての議案が提出され、総員の賛成により同意しました。

成により同意しました。久壽米木恵美子氏(岡本在住) 山口 吉一氏(常盤在住) 齋藤 秀樹氏(梶原在住) 任期は、平成29年2月7日から3年間です。

観光厚生常任委員会・総務常任委員会連合審査会を開催

12月5日開催の観光厚生常任委員会において、審査中の「社会福祉法人ラファエル会の施設管理について」、同法人の施設管理上の課題および今後の契約の在り方をたためるため、総務常任委員会に対し連合審査会(※)を開催されました。

審査会では今後、執行部側への質疑に加え、参考人への意見聴取などを行い、「11月18日開催の観光厚生常任委員会での原局答弁と

※連合審査会とは？
案件の付託を受けた委員会が、他の関連する委員会と合同で審査・調査を行うために開く会議のこと。



連合審査会の様子

編集後記

昨年、ノーベル文学賞を受賞したボブ・ディランは「ノックノック 天国の扉を」と歌っています。詩の意味とは違いますが、本号一面にある通り鎌倉市議会でも議会改革を行なってきました。

もちろん、まだまだ市民の皆さまにご満足いただける内容ではありませんが、議会が一丸となって扉をノックしてきた結果です。ノックを続けたいと思いを、市民の皆さまの期待に応える議会にしたいと考えます。

(渡辺 隆)

議会広報委員会

- 委員長 保坂 令子
- 副委員長 永田 磨梨奈
- 委員 西岡 幸子
- 委員 前川 綾子
- 委員 渡辺 隆
- 委員 上島 寛弘
- 委員 吉岡 和江